

## 「本」の力、「図書館」の力

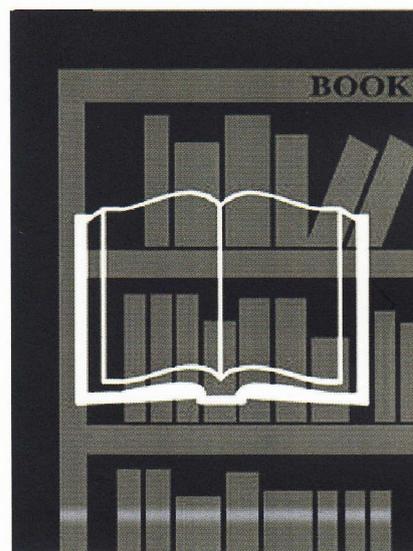
### 「本」の力

本は、先人の知を伝え、人の生き方を問い、新しい発見をもたらし、感動と勇気を与えてくれます。無限の可能性を秘めた本は、私たちに力を与えてくれます。

本の力は、気づかずとも人を支え、読む人の心に小さな種をまきます。それが、時間をかけてゆっくりと育ち、根となっていきます。それは、思わぬ場面で大きな力を発揮します。ときには心の支えとなり、ときには勇気がわき、人生を豊かなものにしてくれます。

一冊の本は、丹精をこめて書き上げた著者と編集者、デザイナー、印刷から製本を手がける人など、多くの人びとの思いが込められて読む人のもとに届きます。

読書は、見知らぬ著者と「知と時」を共有する読む人とのコミュニケーションです。そこでは、人と人をつなぐ力が生まれます。



### 「図書館」の力

図書館にはたくさんの本と資料があり、市民に利用されるときを待っています。

出版されたばかりの新しい本から、幾世代も読み継がれてきた古典といわれる本まで、時と地域をこえた本が待っています。

図書館は、哲学や歴史、自然科学、小説から生活に役立つ実用書まで、さまざまなジャンルの本と資料を備え、利用者の求めに応じて提供しています。

図書館は、こうした仕組みにより、知の安全網(セーフティネット)として、地域のあり方や課題の解決を求める市民に役立つところです。

図書館の利用を通して、さまざまな本と人に出会い、その多様性に気づき、お互いを尊重しあう寛容な心を育てます。

図書館には本があります。力を持った本があります。本と人をつなげていくのが「図書館の力」です。